

「島田帯シャツ」でクールビズを実施中

◎商工課 ☎36・7164

市では、クールビズ期間実施中の7月1日から10月14日までの予定で、市役所本庁舎と島田図書館、こども館の女性職員が「島田帯シャツ」を着用し、窓口サービスなどに努めています。

島田帯シャツは、市内事業者と島田商工会議所青年部が中心となって開発した製品です。浴衣地のシャツの襟元や胸元に、西陣織の帯生地をあしらった「帯のまち島田」らしい仕上がりとなっています。製造と販売は、島田帯シャツブランド協議会が行い、縫製の一部を市内の障害者支援施設で行うなど、社会貢献活動としての一面も持ち合わせています。



島田信用金庫

また昨年は、島田信用金庫の皆さんも、本店と七丁目支店で帯シャツを着用してくれました。そして本年は、向谷・島田北支店と六合本店でも着用するなどして、10月に開催される島田大祭のPRに努めてきています。

初倉の阪本地区にパローが移転・操業

◎商工課 ☎36・7125

食品スーパーなどの「櫛パロー」（本部・岐阜県多治見市）が、初倉地区阪本の谷口工業用地（敷地面積約4万6600㎡）に建設を進めていた静岡総合センター内に「物流センター」が完成し、6月18日に竣工式が行われました。

物流センターは、鉄骨平屋建て（一部2階建て）で、延べ床面積は約1万6400㎡。冷凍庫やドライ倉庫などを備え、県内のスーパーマーケット

トなどを中心  
に、加工食品  
や冷凍食品な  
どを配送する  
拠点になりま  
す。  
今後は、惣  
菜・豆腐製造  
工場なども、  
静岡総合セン  
ター内に建設  
される予定で  
す。



谷口工業用地内に完成した物流センター

田代の郷温泉「伊太和里の湯」入館者数実績

◎観光課 ☎36・7244  
◎伊太和里の湯 ☎33・1148

田代の郷温泉「伊太和里の湯」平成24年度入館者数実績をお知らせします。

【伊太和里の湯 入館者実績】

項目	入館者数
平成24年4月	16,014人
5月	17,514人
6月	15,622人
7月	15,749人
8月	18,720人
9月	16,514人
10月	17,035人
11月	15,350人
12月	16,779人
平成25年1月	21,040人
2月	17,856人
3月	17,230人
平成24年度計	205,423人
平成23年度計	202,388人

営業日数／311日  
1日平均入館者数／661人  
1日最高入館者実績  
1,737人(H24.10.8)  
累計／750,989人(H25.3.31)

【8月営業日のお知らせ】

伊太和里の湯は、8月のお盆の期間中、休まず営業しますので、ぜひご来館ください。8月の休館日は、5日・19日・26日の月曜日です。

株川根町温泉 経営状況報告

◎観光課 ☎36・7244  
◎株川根町温泉 ☎53・4330

島田市「川根町ふれあい拠点施設」の指定管理者である株川根町温泉から、平成24年度の決算が報告されましたので、お知らせします。

【温泉】

平成24年度ふれあいの泉の利用状況

項目	平成24年度	対前年比
営業日数	349日	2日減
入館者数	32万8652人	1.7%増
1日平均	941人	21人増
売上高	5億3494万4699円	1.6%増

【コテージ】

平成24年度ふれあいコテージの利用状況

項目	平成24年度	対前年比
営業日数	361日	1日減
利用棟数	3000棟	24棟減
稼働率	83・1%	0.4%減

コテージの稼働率については、前年度同様、インターネット予約システムの導入効果により、高い稼働率を維持することができました。

入館者数、売上高ともに、前年度を上回りました。減少傾向にあった入館者に、歯止めがかかりました。

## 国際陶芸フェスティバルに向けて笹間地区に穴窯が完成

◎文化課 ☎46・2344

6月15日、山村都市交流センター「ささま」に陶芸窯の穴窯が完成し、火入れ式が行われました。

この穴窯は、入口の高さ約89cm、幅11m、奥行41m。11月に開催される「第2回 国際陶芸フェスティバル in ささま」に向けて、実行委員会のメンバーや地域のボランティアの皆さんが、アートディレクターの道川省三さんや国内外の陶芸家の協力を得て、制作したものです。

同センターでは、ホタルが舞う笹間にちなみ、この穴窯を「ほたる窯」と



「ほたる窯」を製作する人たち

名付けました。今後は、ほたる窯を活用し、定期的に陶芸教室を開催するなどして、中山間地域の魅力を高め、地域活性化を図っていききたいと考えています。

## 島田市民病院の「まちなか移転計画」を白紙に

◎政策推進課 ☎36・7191

今回、市民の意向を踏まえた新たな方向性として、市民病院の「まちなか移転計画」を白紙にし、新病院の規模や建設時期、建設地などについても見直すことにしました。

今後は、30年先を見据えた地域医療のあり方を市民の皆さんや医療機関、医師会、近隣市町などと更に議論し、機能的な医療体制を改めて検討することになりました。

なお、新病院建設地検討委員会は、平成24年10月29日に設置し、これまで3回にわたり、まちなか集積医療基本

構想を踏まえた新病院建設場所について検討を重ねてきました。今回、この計画を白紙としたことにより、5月29日をもって、委員会を廃止にすることにしました。

この委員会では、地域医療における市民病院のあり方などについても、専門的な立場から意見をいただきました。委員会での論点や意見は、今後の検討に生かしていきます。

これまでの検討内容は、市のホームページでご覧いただけます。

☐ <http://www.city.shimada.shizuoka.jp/seisaku/kentouinkai.html>

## 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」フォーラム開催

◎農政課 ☎36・7168

世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」の今後の活用方法などを検討するフォーラムが、6月29日に島田市お茶の郷で茶業関係者ら約180人を集めて開催されました。

第一部では、静岡県農林技術研究所の稲垣栄洋<sup>いながきひでゆき</sup> 上席研究員が基調講演を行い「先進的な農業の中で、良質な茶を生産するという農業生産性と、特別な場所だけでなく日常の暮らしの中で生物多様性が守られ、共存していることに茶草場の価値があると」と説明。農業地域が元気でなければ守られないとして、「茶の都、静岡のお茶へのこだわりを世界へ発信しよう」と呼び掛けました。

第二部では、川根町笹間地区でエコファーマー認定の茶生産農家として敷

草用半自然草地の育成管理に取り組んでいる種本祥政治<sup>たねもとしょうせい</sup> さんをはじめ、NPO法人理事長らが、「茶草場農法の保全と活用について」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

今後、掛川市と菊川市、牧之原市、川根本町、島田市の4市1町で設置する「静岡の茶草場」世界農業遺産推進協議会では、茶草場農法の認定基準づくりなどを検討し、茶草場のブランド化に向けて取り組んでいきます。



パネルディスカッション

## 「はばたき橋」が8月3日に開通

◎建設課 ☎36・7182

静岡県が平成11年度から整備を進めてきた「はばたき橋」を含む主要地方道島田吉田線の残区間1.5kmが完成し、8月3日(土)午後3時から供用が開始されます。

「はばたき橋」の開通により、国道150号「富士見橋」や県道島田吉田線「谷口橋」の交通量の分散を見込んでいます。このため、周辺道路の渋滞

緩和に大きな効果があると期待されています。

